

NEWS LETTER Vol.02(Bクラス)

2022.06.09

立花愛の園幼稚園での見学実習を行いました。

2022年5月24日(火) 9:20 -12:30



認定こども園立花愛の園幼稚園では、「よりよい社会と幸福な人生の創り手となるしなやかな子どもを育てる」ことを教育目標とし、保育を実施されています。今回の見学実習は、心理師として教育領域に関わる上で重要になってくる、「**幼児教育の実際の現場を知る**」第一歩となる貴重な体験となりました。

はじめに幼稚園の概要について説明を受けた後、1歳から5歳までのクラスを見て回りました。遊びを中心とした、**子どもの主体性を育てる活動**や、子どもたちの**年齢・発達段階に合わせた先生たちの関わり方**、**園庭でいきいきと活動する子どもの姿**などを見ることができ、さまざまな学びを得ることができました。見学後には、私たちが実際に保育に触れてみて疑問に思ったことに対して、丁寧に答えてくださいました。

実習指導者の先生のお話

保育における「見守り」



立花愛の園幼稚園の教育では、子どもの生活と遊びを「子供自身が自由に選んで行う活動」と「教師が意図的に経験させる活動」の2つの側面から捉えています。また、どちらの活動においても大切なことは、**子どもに自分で試行錯誤し、考え、発見する経験を得てもらうために、保育者が敢えてすぐに助けず、寄り添い見守ること**だとお話されました。

相手のペースに合わせて忍耐強く見守るという保育者の姿勢からは、心理師の在り方として一つの学びとなるものがありました。濱名先生と森先生のお二人が、具体的な話も交えて、わかりやすくお話をしてくださいました。

施設について



施設内を見学するなかで、乳児保育では大人の都合で待たせて子どもが退屈する時間を減らすために先生方が道具を準備される姿や、子どもの好奇心や興味を引くような工夫がされていることを知りました。**子どもを取り囲む環境からのアプローチ**も行うことで、より充実した保育を実践されていました。

編集後記

お忙しい中でも、私たちが快く迎えてくださり貴重な体験をさせていただきました、立花愛の園幼稚園の皆様にご心より感謝申し上げます。

NEWS LETTER 作成:田村

